平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		観光マーケティング調査の実施				所管	文化産業観光部 にぎわい計画課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	27	計画事業名	観光マーケティング調査の実施			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-1. 産業の活性化					事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (1)にぎわい、誘客の促進					[事業開始]	平成16年度	
		[施策] ② 効果的観光宣伝活動の充実[11]					[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	その他	[法令等名]	要綱等なし					
	事業対象	観光に関係する区民や事業者・団体等							
	事業目的	本区の観光統計の基礎資料とするとともに、観光施策や誘客促進等に活用する。							
	事業内容	歩行者カウント調査やアンケート調査等を行い、観光客の動向、ニーズ、回遊状況やその他の現状を把握するための調査を実施する。 ※偶数年の隔年(暦年)実施							
委託の有無	一部委託	委託内容	台東区観光統計・マーケティング調査委託						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	アンケート調査回答数	件	2,000	0(震災のため)	2,325	0		
		カウント調査実施日数	日	6	2	6	2		
	成果指標	年間観光客数	人	50,000,000	-	43,829,000	-		
		決算額 (単位:千円)				826	7,044	1,027	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			7,201	3,332	3,409		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			826	7,045	1,028		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			8,027	10,377	4,437		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0				
一般財源(区負担額)			8,027	10,377	4,437				
前年度から改善した事項	スカイツリーからの人の流れを把握するため、言問橋の歩行者カウント調査地点を見直した。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	本区の観光の現状や観光施策を分析、検証するためにも、本調査を継続的に実施する必要がある。						
	効率性	3	隔年で実施することで効率化を図っている。						
	手段の適切性	3	調査手法は、観光庁の共通基準により実施し、調査の信頼性を確保している。						
	目的達成度	3	観光統計資料として多く活用されているほか、観光戦略各会議等においても重要な資料として活用されている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
観光施策や新観光ビジョンの取組みを評価する上で重要な基礎資料であり、今後も継続的に実施する必要がある。						維持			